

光ヶ丘県営住宅75号棟



●(目的)

光ヶ丘県営住宅75号棟は、昭和41年に建設された2棟からなる建物であったが、住戸内に浴室が無いなど居住性が低く老朽化も進行していた。建て替え事業では、居住性の向上や高齢化社会への対応など時代のニーズに合うよう計画を行った。

また、駐車場・駐輪場を北側にまとめて配置し全面道路側に緑地帯を設けることで、沿道景観にも配慮した。



車いす対応住戸 居室



車いす対応住戸 洗面・トイレ





(計画)

居住性の向上・高齢化社会への対応

全ての住戸が南側採光となる計画とした

高齢者世帯の増加を予測し1LDK(高齢者夫婦向け)の住戸を70%に設定した
EVの設置や住戸内の段差解消などのバリアフリー化を行った

(外観等)

景観・環境への配慮

周辺からの眺望など景観向上を考慮し、瓦屋根を採用した

敷地周囲に緑地帯を設け車歩道や周辺住宅からの景観に配慮した

外断熱工法及びペアガラスの採用によるライフサイクルコストの縮減を図った

(工事内容)

一部の駐輪場は躯体を利用することで、コスト縮減・長寿命化を図った

EV及び階段室を住棟と一体構造とすることで、外壁や柱の数量を減らし建築コスト縮減を図った

DATA

①居住施設

金沢市光が丘1丁目地内

平成26年8月～平成27年7月

RC造:地上4F

延床面積:1988.01㎡

28戸

(うち車椅子対応住戸1戸)